



スタート前に桜並木駐車場で行われたミニセレブレーションで、大仙市からの聖火が引き継がれました。



Photo by Tokyo 2020

1 田口成浩さん
(千葉県習志野市)



Photo by Tokyo 2020

2 菅原英樹さん
(潟上市)



Photo by Tokyo 2020

3 坂本愛さん
(秋田市)



Photo by Tokyo 2020

4 鐙将算さん
(潟上市)



Photo by Tokyo 2020

5 田崎清俊さん
(秋田市)

6月8日、東京2020オリンピック聖火リレー「Hope Lights our Way / 希望の道を、つなごう。」が角館町内で開催され、13人の聖火ランナーが聖火をつなぎました。

3月25日に福島県をスタートした聖火リレー。仙北市では角館町の桜並木駐車場を発着に、武家屋敷周辺を聖火ランナーが走り抜けました。

スタート前に同駐車場で行われたミニセレブレーションでは、門脇市長によって最初の聖火ランナーの田口成浩さん(プロバスケットボールリーグ・千葉ジェッツ所属 ※聖火リレー時)のトーチに聖火が点火され、市内小中学校のサポートランナーとともに走り出しました。その後聖火は、各ランナーにつながれ、武家屋敷周辺を経て、再び桜並木駐車場に戻ってきました。ランナーたちによって無事につながれた聖火は、次の区間の秋田市に引き継がれました。

Hope Lights our Way

希望の道を、つなごう。

東京2020オリンピック聖火リレー

第8走者の吉田雄吾さんのコメント

聖火を持って走った感想は？

「春は桜、初夏は新緑、夏は避暑、秋は紅葉、冬は雪景色と四季が存分に感じられるこの武家屋敷通りで、9月に行われる角館のお祭りとはまた違った新しい形のお祭りの雰囲気を感じながら走ることができた」

走る前にお子さんから応援の言葉はあったか？

「パパ頑張って!!と言われてきた。少子高齢化が最先端で進む秋田県で、今後、子どもたちの将来がどうなっていくのか不安であるが、この聖火が夢を与えるキッカケになればとの思いで走った」

※氏名と住所は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の公表にもとづきます。

6 石川裕子さん
(秋田市)

7 櫻田学さん
(神奈川県横浜市)

8 吉田雄吾さん
(仙北市)

9 萩原拓也さん
(東京都杉並区)

10 高橋謙一さん
(秋田市)

11 吉田綾子さん
(秋田市)

12 佐藤直央さん
(秋田市)

13 菊地利佳さん
(仙北郡美郷町)



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020